

「野の花の丘便り」 9月中旬

ハギの花

「野の花の丘」の園路の反対側にあるハギの赤紫色の花が咲き始めました。ハギは秋の七草の一つで、草かんむりに秋と書き、まさに秋を代表する花です。

令和の元号で、万葉集の梅の花が話題になりましたが、ハギは万葉集の中で植物では最も多く詠み込まれていて、次は梅、桜はずっと少なかったようです。

ハギは冬になると地上部が枯れてしましますが、春には毎年新しい芽を出し、生え変わることから、「はえぎ（生え芽）」、次第に「はぎ」に変化したと言われていました。花の可愛さもさることながら、その強い生命力に万葉の人々も心を惹かれたのでしょね。

花が少なくなるこの時期、ハギの花を愛でながら、万葉の雰囲気を感じるのもまたいいものです。

咲き始めたハギの花

